

令和5年度
(2023年度)

伊丹市民意識調査概要

総合政策部政策室

1 調査の目的

市民の市政に関する意識から政策的課題を把握し、政策形成に反映するとともに、第6次伊丹市総合計画後期実施計画の策定に活用。

2 調査の項目

「伊丹市の住みやすさ」「伊丹市での定住志向」
「市の取組の満足度・優先度」「新型コロナウイルス感染症対策の評価」

3 調査の設計・回収状況



調査地域 伊丹市全域

調査対象者 満18歳以上の伊丹市内在住の方

配布数 3,150人

到達標本数 3,139件

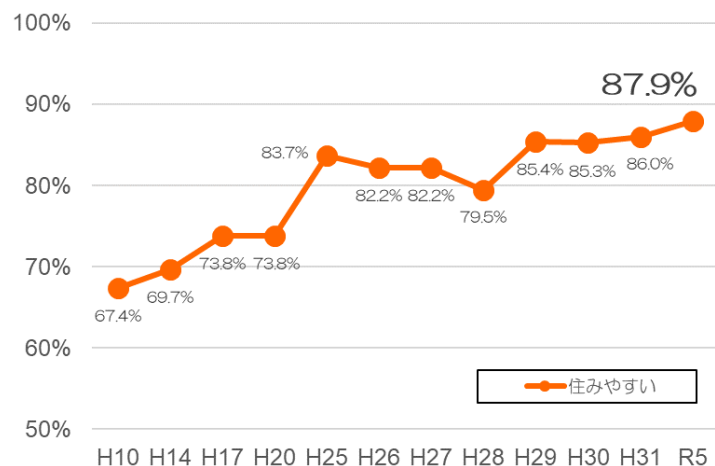
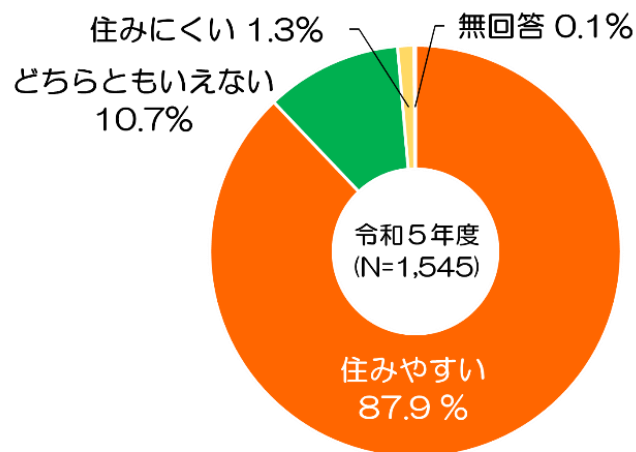
回収数 1,545件
(回収率49.2%)

抽出法 住民基本台帳から小学校区ごとに偏りがないよう無作為抽出

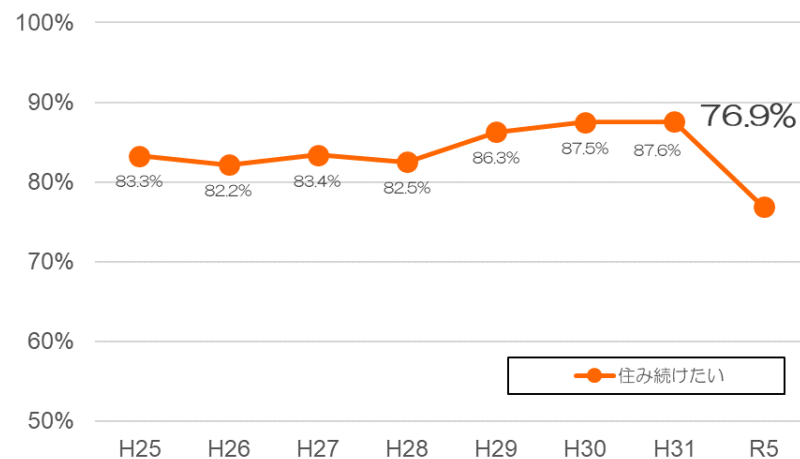
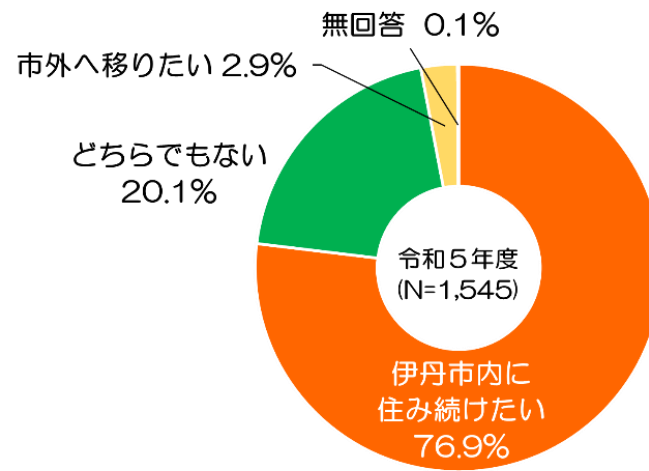
調査期間 令和5年12月18日（月）～ 令和6年1月5日（金）

4 調査の結果

(1) 住みやすさ



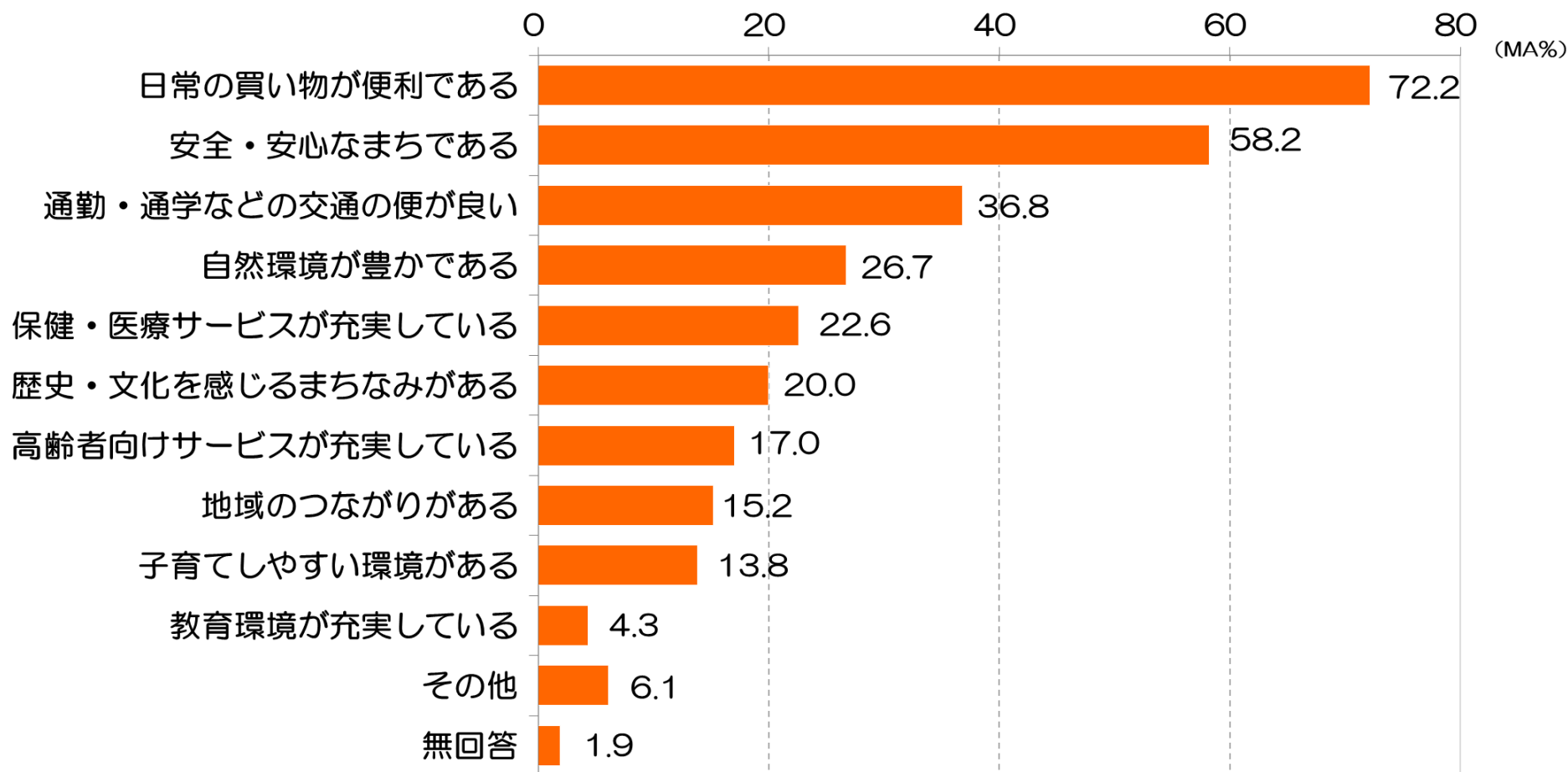
(2) 定住志向



伊丹市に「住みやすい」と回答した人は87.9%に達し、過去の調査結果の中で最も高い割合となりました。「住み続けたい」と回答した人は76.9%となりました。

4 調査の結果

(3) 住み続けたい理由



住み続けたい理由として「日常の買い物が便利である」が最も高くなりました。



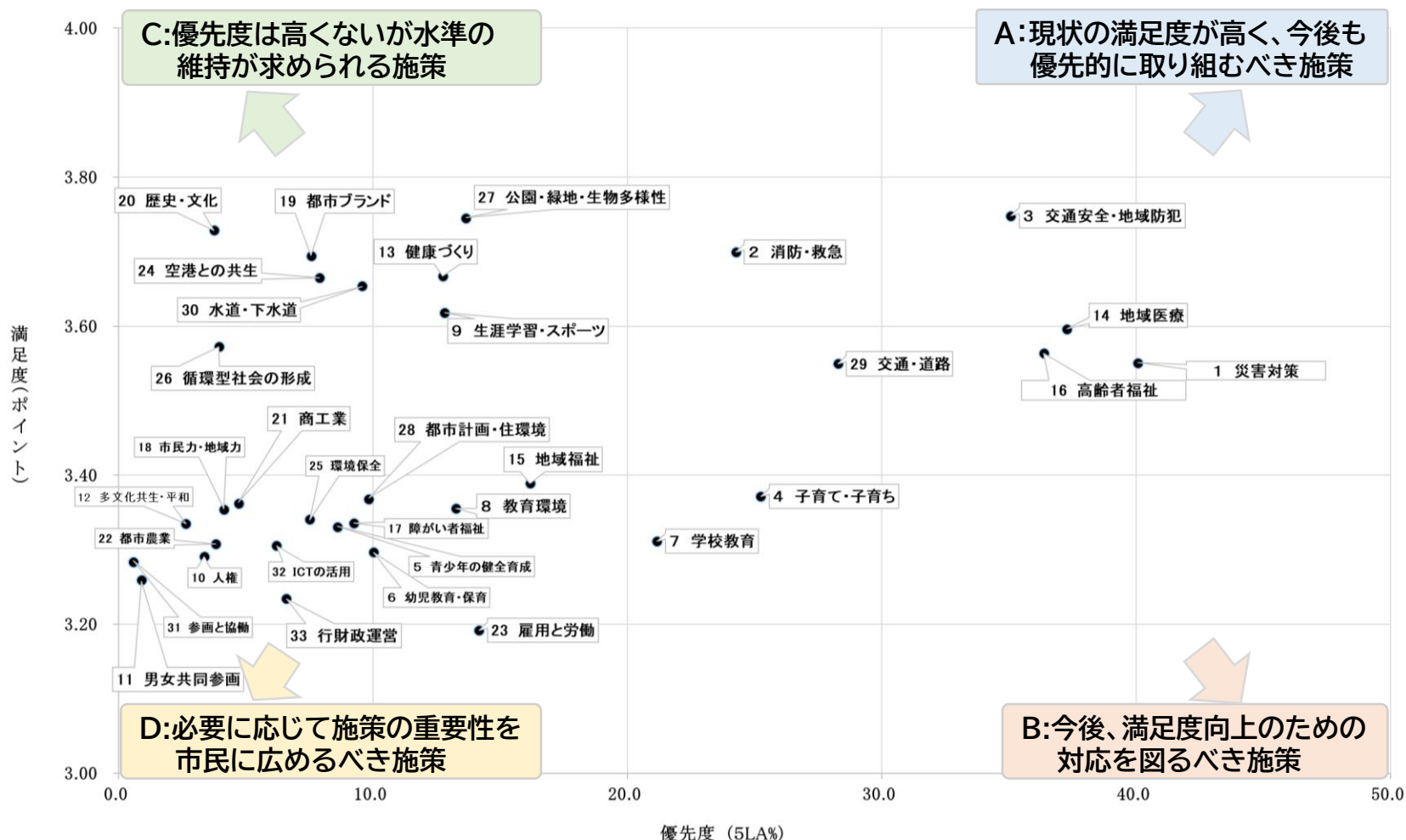
4 調査の結果

(4) 総合計画の33の取組における満足度・優先度

市の施策の『満足度』と『優先度』の相関関係をマトリクス（散布図）で表しました。

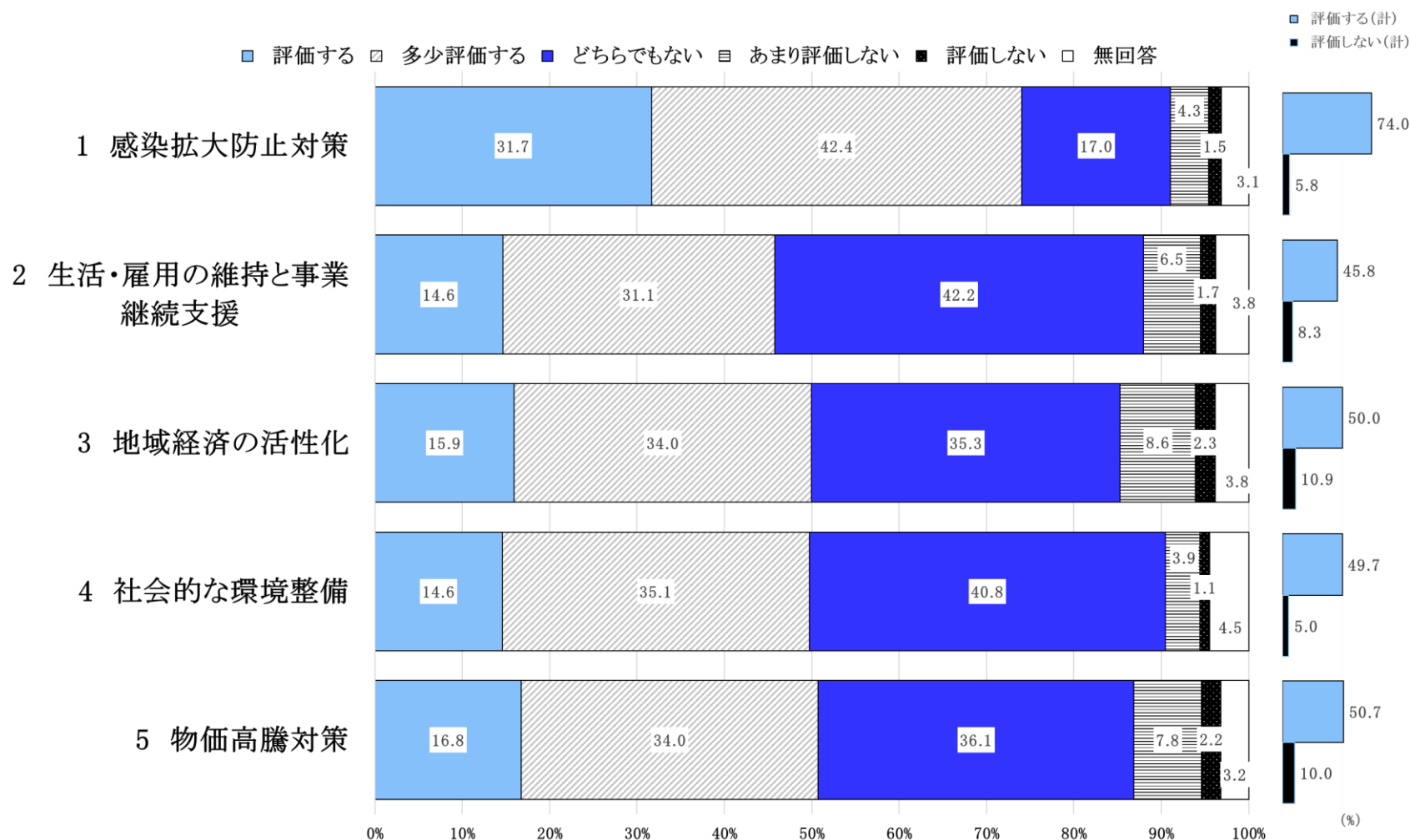
『満足度』を縦軸とし、「満足」を5点、「やや満足」を4点、「やや不満」を2点、「不満」を1点として合算し、平均した結果を表しています。3.00ポイントを評価の中間とし、3.01以上はプラス評価で、数値が5.00に近いほど満足度が高いことを表しています。

『優先度』を横軸とし、33の取組の中で計画期間中に、市に優先的に取り組んでほしいと思うものを5つ選択していただき、回答比率を表しています。数値が高いほど優先度が高いことを表しています。



4 調査の結果

(5) 新型コロナウイルス感染対策についての評価



新型コロナウイルス感染症対策について「評価する」と「多少評価する」の合計は、「1 感染拡大防止対策」(74.0%)が最も高く、次いで「5 物価高騰対策」(50.7%)、「3 地域経済の活性化」(50.0%)の順となりました。